

【添付資料1】経理業務統合本番環境用ソフトウェア一覧

(1) 調達対象となる必要ソフトウェア

No	種類	製品名	導入予定時期
1	データベースソフト	Oracle Database Enterprise Edition	2018年4月
2	データベースオプション	Oracle Advanced Security Option	2018年4月
3	COBOL	Microfocus COBOLコンパイラ(スタンドアロン)※PeopleSoftで利用	2018年4月
4	COBOL	Microfocus COBOLランタイム(初期10プロセス) ※PeopleSoftで利用	2018年4月
5	帳票ツール	SVF Connect SUITE Standard Windows版(1P4C版)	2018年4月
6	帳票ツール	SVF for PDF Windows版(1P4C版)	2018年4月
7	SSLサーバ証明書	SSLサーバ証明書	2018年4月

(2) ソフトウェアのライセンス数

No	製品名	対象サーバ別ライセンス数					合計	備考
		仮想本番AP 3台	仮想本番Web 3台	仮想本番バッチ 5台	物理本番DB 2台	物理検証AP/WEB/DB 1台		
1	Oracle Database Enterprise Edition	-	-	-	4	100NUP	4 100NUP	※1
2	Oracle Advanced Security Option	-	-	-	4	100NUP	4 100NUP	※1
3	Microfocus COBOLコンパイラ(スタンドアロン)※PeopleSoftで利用	-	-	1	-	-	2	
4	Microfocus COBOLランタイム(初期10プロセス) ※PeopleSoftで利用	-	-	5	-	-	6	※2
5	SVF Connect SUITE Standard Windows版(1P4C版)	-	-	5	-	-	6	※2
6	SVF for PDF Windows版(1P4C版)	-	-	5	-	-	6	※2
7	SSLサーバ証明書	-	-	-	-	-	2	

※1 Oracle Database ライセンス数の算出方法

本番DB 2CPU(実搭載CPU数) × 4コア × 0.5(適用係数) = 4 2台あるが、待機サーバはライセンス不要。

検証DB 2CPU(実搭載CPU数) × 4コア × 0.5(適用係数) = 4

※2 インストールされるサーバ機器(仮想化サーバ)については、VMWareHAで冗長化される想定となっております。